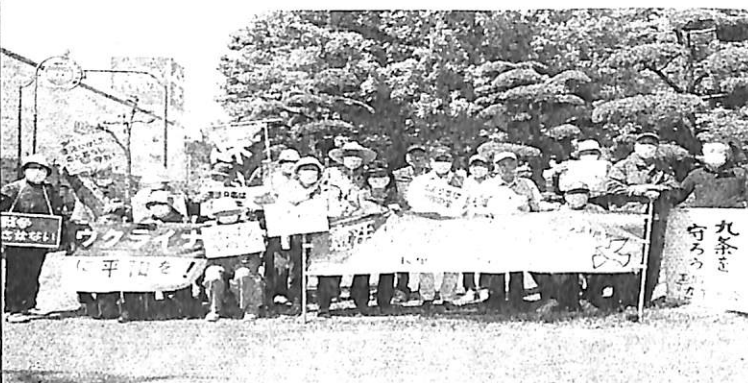


映画「わが青春つぎるともー伊藤千代子の生涯」上映会と結んで拡大目標達成！
「平和と自由」「ジェンダー平等」を求め闘った治安維持法犠牲者の志しを今、語る

2021年6月1日からの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2022.5.31 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	2,327	200	230
備 南	2,500	511	80	66
美 作	800	463	50	33
玉 野	700	864	20	20
県 計	10,000	4,165	350	350



岡山県版

No. 314

2022年6月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

岡山県本部

〒710-0131

倉敷市天城台

4 - 7-12 福井方

振替 01300-4-99361

mail : family-fukui@
khf.biglobe.ne.jp

治安維持法体制の清算に向け
新しい政治実現の一翼を担う同盟運動を！

「反戦・平和」「主権在民」「自由」「ジェンダー平等」を求めた一〇〇年前の伊藤千代子たちの闘い。県下、五会場で上映された映画「わが青春つぎるともー伊藤千代子の生涯」は五〇〇人を超える人達が視聴した。さらに一〇月までに五つの会場で上映会が計画されており、さらに多くの人たちが觀賞することになる。

今、ロシアのウクライナへの侵略から「軍事力の増強」と「敵基地攻撃能力」「核共有」が声高に発言される。「台湾有事に軍事介入」を明言する米バイデン大統領に続き、岸田首相は「軍事費の相당한増額」とこたえる。

一〇〇年前の伊藤千代子たちの闘いを生かすかどうかは迫っている。参院選で試されるように思える。

治安維持法国賠同盟は一九六八年、「再び戦争と暗黒政治を許すな」をスローガンに「治安維持法犠牲者への謝罪と賠償、名誉回復」を求めて結成され、五〇年を超えて活動を続けている。六月に第四〇回全国大会が予定されているが同盟は二万人の会員と支部を持つ同盟組織の拡大建設に向け、頑張っている。岡山県の国賠同盟は同盟創立五〇年の時に三〇〇名に到達し、今年六月の四〇回大会までに三五〇名に到達することを目標に奮闘してきた。そして五月末に目標を達成した。これは映画「わが青春つぎるとも」の上映運動とむすんでのとりくみが力になりました。さらに治安維持法犠牲者の思いに込め「二〇二〇年代に治安維持法体制の清算」と新しい政治実現に向け、奮闘しましょう。

治安維持法賠償署名請願行動に参加して

県本部 事務次長 小林治彰



五月一日、「治安維持法犠牲者」への「謝罪と賠償、名誉回復」を求める国会請願行動に、岡山県から個人署名四〇五七筆、団体署名六四筆を携え、坪井貞夫さんと私とで参加してきました。四九回目となる今年は二三都道府県、一〇八人が参加しました。集会で吉田万三会長代行は今、取り組んでいる映画「伊藤千代子」の上映会にふれ、「日本の戦後の歴史は、こうした治安維持法のもとで犠牲になった人々に対する反省や補償が行われないまま、現在に至っている」と述べ、政治の後進性を批判しました。請願行動は二九組に分かれて一〇四人の衆参議員に行い、私たちは鳥取県代表の金田靖典さんと

五月一日、「治安維持法犠牲者」への「謝罪と賠償、名誉回復」を求める国会請願行動に、岡山県から個人署名四〇五七筆、団体署名六四筆を携え、坪井貞夫さんと私とで参加してきました。四九回目となる今年は二三都道府県、一〇八人が参加しました。集会で吉田万三会長代行は今、取り組んでいる映画「伊藤千代子」の上映会にふれ、「日本の戦後の歴史は、こうした治安維持法のもとで犠牲になった人々に対する反省や補償が行われないまま、現在に至っている」と述べ、政治の後進性を批判しました。請願行動は二九組に分かれて一〇四人の衆参議員に行い、私たちは鳥取県代表の金田靖典さんと

と述べました。最後の全体集會を聞きながら思ったことが二つあります。一つは、地元での事前の要請行動が必要素だと思ったことです。もう一つは、要請行動の中でも思ったこと

玉野支部は国賠署名の支部目標達成
映画「わが青春つきるとも」上映会に一〇六名が参加
玉野支部 小野富男

二月の支部総会で①国賠署名の目標達成②映画「わが青春つきるとも」上映会の成功③会員拡大を奨める④改憲阻止のため参院選勝利などを全員で確認しました。国賠署名を民主団体の支部、班にまで協力をお願いしました。コロナ禍のもとで友誼団体、会員のみなさんの奮闘で昨年に続き、支部目標を達成し国会請願の代表に託しました。

五月二日には映画「わが青春つきるとも」上映会を開催し一〇六名の参加で成功しました。参加者からは熱い感想が寄せられました。

「千代子さんの強さに感動しました。激しい拷問シーンで胸が締めつけられました。獄舎での千代子さんの行動は女性同士を励まし合っている、胸を打たれました。」

七月の参院選はまさしく「再び戦争と暗黒政治を許すのか」が問われる選挙です。「平和と自由」を守る、改憲阻止のために活動の輪をもっと広げます。

「わが青春つきるとも」
伊藤千代子の生涯上映会にとりくんで
東区上映実行委員長 宿女和子

今と全く違う政治体制の中で自由と平和のために闘った千代子さんの雄姿に感動しました。それと同時に最後の場面で特高警察の上層部の多くが戦後、国会議員になり、政治の中枢を担う立場に居座っていることがショックでした。軍事拡大に前のめりで反戦デモを敵視する今の政治がある理由が分かったような気がしました。

ドイツではナチス政権が倒れて後、六〇年代に国民的な議論、反省のもとに二度とヒトラーのような独裁者を出さないために民主主義の徹底と教育の中で加害者としての歴史を学んでいます。日本は戦争に負けた被害者という意識が強く、国内での思想弾圧の卑劣さと朝鮮、中国への侵略戦争の残酷と非道な犯罪はほとんど学んでいません。過去の日本が侵略戦争や反戦思想を弾圧したことが「正義だ」と言い張る人たちの分断はどうやったらなくしていけるのでしょうか。

同じ人間同士、家族や友人を愛する気持ちは同じです。同じ日本人同士、ふるさとを大事に思う気持ちも同じです。

千代子さんの時代から見れば今は言論の自由も守られ、女性や若者に選挙権はあり、ずっと良くなっています。でもそれが当たり前のことでない事を肝に銘じて、私も学ぶことを大切にしたいと思っています。

川柳

作者 玉野市 藤沢貴代子さん

あのマスク 花粉か風邪かコロナかな
雨にも負け 風にも負けてコロナに勝つ
延命はいらぬと言いつつ 薬づけ
よろめきは 昔ドラマで今 段差
パスポート なしで行けます ニューヨーク（入浴）
もう死ぬと口癖の人 百歳だ
お姉さん 呼ばれてみんな振り返る

「わが青春つきるとも」を観て

玉野市 藤沢貴代子

千代子が突然、特高に逮捕される場面から始まったこの映画。吸い込まれるように見入った二時間だった。

亡き夫がよく口にしていた言葉を思い出した。「この世の中で一番怖いのは国家権力だ」という言葉だ。

この言葉そのものが凝縮された映画だったと思う。

貧しくて弁当を持つてくることのできない児童に弁当を分け合う心優しい千代子。

夫に裏切られても信念を曲げることはなかった。本当に強い女性。拷問の場面では胸が苦しくなるほどのショックを覚えた。でも映画として表現できない場面が実際にはあったはず。

小林多喜二、伊藤千代子をはじめ沢山の人の犠牲を無駄にしてはならない。

天皇陛下万歳の時代に逆戻りしてしまつたようなロシアによるウクライナ侵略がダブって見えてくる。



弁護士 大森詮夫

治安維持法弾圧に抗しての弁護士活動

大森詮夫は一九〇二(明治三三)年、岡山県赤磐郡瀬戸町大字下一六七番地で大森伊三次と久満の長男として生まれた。

伊三次は岡山市上西川町二五番地で酒屋を開業。詮夫はこの岡山市で育った。

詮夫は読書好きの少年で相撲、剣道が強く、喧嘩もよくした。高等小学校卒業後、岡山の弁護士宅へ書生として入り、そこで弁護士を志望するようになった。

一九一九年(大正八)、上京し星島二郎代議士宅に書生として住み込み、日本大学中学校に入学。結核を患って六高の受験に失敗したが一九二五年に中央大学予科に入学、翌々年に法学部に入学して一九三〇年に卒業した。

布施辰治事務所で青柳盛雄らとともに治安維持法犠牲者を弁護、支援

法学部在学中に杜研のキャップとして活動し、社会主義者となった。当時、明治時代からの社会主義者、服部次次郎の娘、民子と知り合った。司法試験に



合格した詮夫は一九三〇年、

布施辰治の事務所に入った。布施辰治弁護士は治安維持法で弾圧された日本共産党員の弁護に奮闘していた。布施事務所には守屋典朗の紹介で入所した河合篤、小林恭平の新人弁護士がいて彼らは労働者、農民の闘いを支援、治安維持法で検挙された活動家の弁護に奔走していた。翌年には青柳盛雄、岡林辰雄が入所した。

一九三一年、布施辰治夫妻、山崎今朝弥夫妻の媒酌で服部民子と結婚した。

「自由法曹団」の中心だった布施辰治は3・15弾圧の救援を目的にした「解放運動犠牲者救援会」の法律部長に就任していた。

一九三二年、日本共産党中央委員の岩田義道が特高に拷問で虐殺された。布施、大森、河合、青柳の四弁護士は拷問の傷跡が酷い岩田の遺体を引き取った。一九二九年に布施辰治は大阪事件公判の言動を理由に懲戒相当と起訴され、三三年に弁護士資格をはく奪

され、布施事務所は解散。大森、河合、青柳は「中央法律事務所」を開設した。

治安維持法で自らも検挙、拘留される

一九三三年九月、非転向の治安維持法事件を担当する一八名の弁護士を警視庁特高課は検挙した。弁護活動が日本共産党の「目的遂行の為にする行為」に該当するといふのである。大森詮夫はこの日、中野区の自宅で検挙された。中野署に拘留された詮夫は劣悪な環境で結核を悪化させ、約一〇ヶ月、豊多摩刑務所の病舎に収容されていた。一九三四年一〇月、保釈で妻民子と娘、真砂子の待つ自宅に帰った。それから三六年まで自宅で療養。一九三九年に弁護士資格を回復し、四谷に弁護士事務所を開設した。

“無名戦士の墓に葬ってくれ”

しかし、詮夫は一九四二年三月、突然に高熱を発して寝込み、全身を結核菌に侵され、再び立ち上がることができなくなっていた。

一九四三年三月七日の真夜中、妻の民子に「俺が死んだら細井和喜蔵君の無名戦士の墓に葬ってくれ」といい、二日後の三月九日、息を引き取った。

享年、満四〇歳だった。

(治安維持法と現代)二〇一四年秋季号から

5月

事務局日誌

- 1日 県中央メーデー
- 6日 県本部役員会
- 美作支部役員会
- 9日 「不屈」発送作業
- 10日 映画「伊藤千代子」東区実行委員会
- 11日 国会請願行動
- 14日 映画「わが青春つぎと」も「水島公民館上映会
- 15日 「不屈」美作版発行
- 18日 上映実行委員会岡山市内要請行動、岡山支部役員会
- 20日 映画「わが青春つぎと」も「岡山市実行委員会
- 21日 倉敷地域実行委員会、津山市実行委員会
- 22日 玉野市すこやかホール上映
- 27日 新見市 映画「わが青春つぎと」も「上映実行委員会準備会
- 28日 映画「わが青春つぎと」も「東区西大寺百花ぷらざ上映会